

みこころ



カトリック松山教会

〒790-0003 松山市三番町四丁目 5-5

TEL 089-921-1849 FAX 089-921-2109

川上 栄治 神父 O.P 発行 広報活動委員会



カトリック松山教会
担当司祭神父
川上 栄治 O.P



以前、わたしはある青年から「神父さま、クリスマスは25日で終わりですか？」と聞かれました。その青年は信者なので、わたしは驚きました。

しかし、日本では年末年始に家族が集まり、正月は三日間お休みなので、その時期が主の降誕であるという意識を持っていて信者でもあまり多くないだろうと思います。

それに、聖家族の祭日は典礼暦では主の降誕後の日曜日に祝うという規定があります。が、今年のように主の降誕が日曜日に当たる年は12月30日の金曜日になります。

また、主の公現はヨーロッパで1月6日と固定されていますが、日本では1月2日〜8

日の間の日曜日に移動しますし、1月8日に主の公現を祝うときは主の洗礼が翌日の月曜日に移動し、主日にミサをすることがないので、主の降誕以降の降誕節はあまり印象に残らないのは否めません。

けれども、降誕節にある「聖家族」「主の公現」「主の洗礼」は、それぞれイエス・キリストの生涯において節目となる重要な日です。

「聖家族」はヨセフとマリアの働きによってイエスが神の子として世に出ることができたことを記念します。

「主の公現」はイエスが占星術の学者たちの訪問を受けたことをお祝いします。

「主の洗礼」はイエスが洗礼者ヨハネから洗礼を受けたことによって、神の子として公生活を始められたことを記念します。

その間にある1月1日の神の母聖マリアの祭日はイエスが誕生して8日目にあたり、その日に両親からイエスと名付けられたことが福音で読まれます。

主の降誕は夜半ミサでイエスが誕生し、その誕生が羊飼いたちに告げられた箇所が読まれます。

翌日はヨハネ福音書の序文が読まれることよって、イエスが「世の初めからおられた神の子」であることが荘厳に宣言されます。



イエス・キリスト降誕

それから、「聖家族」「主の公現」「主の洗礼」を祝うことよって、イエス・キリストの誕生から世に出るまでの一連の出来事が完結するのです。

この全てが降誕節に含まれていることを改めて心に留めていただきたいと思います。たとえ、ミサに来ることが難しくても、

イエス・キリストの誕生から公生活に出るまでの降誕節は、わたしたちの信仰の原点と言える時期だからです。



道をととのえ告げ知らせよう
主の足音のひびきを...

初聖体・おめでとう

11月13日に、初聖体が行われました。

コロナ禍の中、子供たちは、よく勉強をしました。4人の皆さんが、神様の子供になりました。



- デイビッド
- オルダー裕真 (ゆうま)
- ドミニック
- オルダー聖真 (しょうま)
- ベルナデッタ
- 半澤 亜花莉 (あかり)
- ラファエル
- 西山 礼生 (れお)

初聖体をおえて

半澤 あかり

わたしは、パンがどんなかんじがするか気になっていました。こんかいの初聖体で、それがわかったのうれしかったです。



ベルナデッタ
半澤 亜花莉
あかり (小3)



パンは、あじはしなかったけれど、その分、心の中でいろんなかんじがしました。それは、心の中があなたかくなったからです。これがパンなのかと思いました。



天使と祈る女の子
絵・亜花莉

はじめて神様がわたしの体の中に入ったんだなと思います。勉強会も、とても楽しかったです。いろんな思い出ができました。

それとこれからおいのりをつづけていきたいなと思いました。パンを食べたあと、いろいろなおいのりをしました。

自分のおいのりも、もちろんだけど、人のためのおいのりもしました。

ウクライナの人のことや、友だちのことをいっばいおいのりしました。わたしの気持ちが、神様に届くといいなと思いました。

娘の初聖体を終えて

半澤 直也



この度、娘・亜花莉が無事に初聖体をいただくことができ、親として安堵と喜び、そして感謝の気持ちを感じております。初聖体拝領式をとり行ってく

ださった川上神父様、式の準備や当日のお世話をしてくださった皆様、祝福の言葉をかけてくださった皆様に御礼申し上げます。

思い返してみると、息子の直崇の初聖体式は約三年前、新型コロナウイルスのパンデミックが起こる前の2019年6月でした。

今回、コロナ禍という困難の中で、初聖体に向けた勉強会を開いてくださった杉浦駒子先生、竹田美保先生、そして、いつも温かい目で娘を見守り、何度も勉強会でお話しをしてくださった川上神父様に心より感謝申し上げます。

今回、初聖体の準備をした子どもたちは娘以外全員男子だったので、娘は最初すごく残念がっていました。



デイビッド
オルダー裕真
ゆうま (小4)



ドミニック
オルダー聖真
しょうま (小3)



ラファエル
西山 礼生
れお (小4)

しかし、神様の大きなお恵みと、本人持ち前の天真爛漫な性格のおかげで、毎回楽しく元気に勉強会に参加できたようです。娘はこれまでずっと、御ミサの中で、私や息子が御聖体をいただく度に「どんな味？ちよっと食べさせて」と言い続けてきました。



初聖体式で「念願のパン」をようやくいただくことができた娘は「味はしない」けれど「心では甘い味がした」と洒落たことを言って周りを驚かせていました。



初聖体を経て、娘はキリスト者として本当のスタートを切りました。これから様々な困難にぶつかったり悩んだりすることもありますが、今の純粹な気持ちですが、今の純粹な気持ちを持ち忘れず、教会の全ての世代の皆様と豊かな関わりを持ちながら歩んで行ってもらいたいと願っています。

今後とも娘・亜花莉を温かく見守ってくださいませよう、お願い申し上げます。

最後に、今回の勉強会には私は娘を連れていくことがあまりできず、妻・亜希子がよく頑張ってくれました。

また母・サヤケが面倒を見てくれたこともありました。妻と母には本当に深く感謝しています。

初聖体を受けて

西山 礼生

最初、勉強に行くのは、とても緊張しました。でもだんだんと行っているうちに楽しくなってきました。知しきや覚えることなどもふえて、大変だと思いましたが、意外とすぐに覚えられました。



ラファエル
西山 礼生
れお (小4)



中でも、主のいのりとアヴェマリアのいのりは、覚えるのに少し時間がかかりました。

ミサの時のじ者も最初はわからなかったけど、だんだん覚えられました。

パンをもらうときの練習も、覚えて、パンはどんな味なんだろうと思いました。

ゆるしのひせきを受けた時、なんだか心が真っ白になった気がしました。そして本番の日、とても緊張しました。

パンを食べる時、食べたしゅんかん不思議な感覚でした。予そうにしていなかった味なのでびっくりしました。

初聖体おめでとうございます

西山 尚子



子どもを授かったときの喜び不安、様々な思いを思い出し、この世に生を受けた時からこれまでのことが思い出されました。

無事にこの日を迎えられたことに一安堵し、とても嬉しく思います。これまで携わっていただいた多くの方々に心より感謝いたします。

日々神様のことを学び、成長していく様を感じ、子どもとの会話がまた楽しいものとなりました。これからも様々なことに出会い、時には立ち止まることもあるかと思えます。その時は神様のことを思い出し、乗り越えていける道を探しながら歩んでいってほしいと思います。本日はありがとうございます。



聖体の恵みがいつも変わらず、わたしたちの中で生き続けることを思い起こして下さい。

聖体は私たちを生かす力になっています。

川上 栄治 神父



避難訓練 10月3日

地域ネットワーク委員 田窪由紀子

10月23日 避難訓練を実施いたしました。

信者さんも、実際にご参加いただいた際の訓練は初めてでした。9時からの、ミサ終了時に1回目を参加者40名で実施し10時のミサ終了時に参加者60名で実施いたしました。

まず、地震時の訓練は、席に着いたまま議長の説明を聞いていただき、次に火事を想定して実際に避難していただきました。



モバイルバッテリーから出火



訓練といえども、非常ベルを鳴らしたので緊張感が増して、参加者の皆さんも真剣に避難していただきました。

避難の際、体の不自由な方を想定し、介助役の男性2名が救出する訓練も行いました。

避難場所では、負傷者がいないか、救急車の手配が必要かを確認し、議長に報告するまでを、行いました。

避難訓練の後は、四国消防の吉野さんご指導のもと、水消火器を使って実際に数名の方に消火訓練を体験していただきました。



終わってから「みんなで一緒に訓練したことなかったのが良かったよ」等々お声がけくださいました。実際、災害に直面した時 適切に自分の身を守ることに、動けない人にどう接するか、みんなでどう協力するか等の、判断を身につけることに必要なのは、普段からの訓練だと思えます。

AED講習会 11月20日

セコムの担当者 新田 祥太さんによる講習

① 周囲の安全確認・

② 反応の確認・肩をたたいて、呼びかける。

大丈夫ですか。



③ 応援を呼ぶ・119番通報・AEDの確保
④ 呼吸の確認・胸と腹部の動きを見る。



⑤ 胸骨圧迫・人工呼吸・
胸骨圧迫(30回) 人工呼吸(2回) 繰り返す。



⑥ AEDの操作・ガイダンスに従い操作をする。



これからも避難訓練、AED講習会を定期的に行い、皆さんと一緒に大切な命と私たちの教会を守っていきたく思いますので、これからもご協力よろしくお願いいたします



結婚式の祝福

9月17日 土曜日、
カトリック松山教会において

♡ 新郎・内田 直希さん
♡ 新婦・中村 瑞生さん



♡ 誓いの言葉 ♡

私達は、夫婦として、
順境にあっても、
逆境にあっても、
病気の時も、
健康の時も、
生涯互いに
愛と忠実を
尽くすことを誓います。

新郎・直希さんより

結婚式を挙げました、内田直希・瑞生です。
小さい頃からお世話になっている教会で、親族や
友人にも来てもらい、式を挙げる事ができてよ
かったです。

コロナ禍で挙式のタイミングが遅れましたが、川
上神父様との勉強会や式を通して、お互いを思う
大切さを再確認できました。

今後も、二人で助け合い、一人ひとりが目標を持
つて、幸せな家庭を築くため努力していきます。

この度は、ありがとうございました。

9月
17日

結婚式の祝福

11月19日 土曜日、

カトリック松山教会において

♡ 新郎・八木 貴士さん
♡ 新婦・紀井 夏美さん



11月
19日

♡ 誓いの言葉 ♡

私達は、夫婦として、
順境にあっても、
逆境にあっても、
病気の時も、
健康の時も、
生涯互いに
愛と忠実を
尽くすことを誓います。



新郎・貴士さんより

こんなにも温かく愛に溢れた結婚式を迎えること
ができ、改めて幸せを実感しています。
これからも、よろしくお願いいたします。



おめでと〜うございます。

二組の結婚式が行われました。誓いの言葉通り
「愛と忠実を尽くすことを誓います。」新郎・新婦
ともに忘れないでください。

楽しくて、明るい幸せな、家庭を築いて下さい。





75歳以上のお年寄りの皆さん、
お元気で教会に来てくださっています。

敬老の日祝い 9月5日



川上神父様から
一人一人に
祝福のプレゼントが
贈られました。



ローズ
オルダー 愛真
えま(3歳)



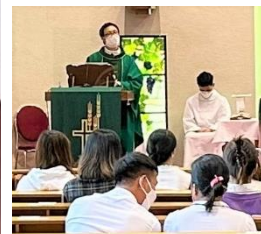
七五三の祝い 11月6日



田中鈴華 すずか(7歳)



ヨセフ神父様 ベトナム語ミサ、これからもよろしくお願いします。



ヨセフ神父

ベトナム語ミサ 10月30日



感謝・諏訪 榮治郎司教様 11月26日



カトリック高松教区の使徒ヨハネ 諏訪 榮治郎司教様75歳・感謝のミサ。

感謝のミサは、コロナ禍で一つの教会から3人しか参加できません。カトリック松山教会からは、ジャ・レ神父様・日野和子・熊谷章子さんが参加しました。



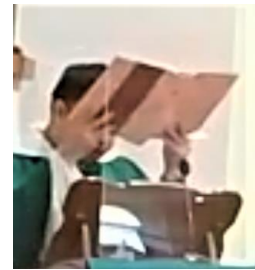
私は幼い時から教会が大好きでした。

イエス様の愛は、私たちの愛として育つようにと聖霊の招きがあつて、それに答えて生きていくから教会は常に新しい存在です。現状維持が正しくないわけです。常に新たに聖霊の問いかけ息吹によって、私たちは新たにされて行くということなのです。私は、新しい歩みを始めて行きます。

一人の牧者としてある教会に行つて宣教を担当していくことになりました。

これからも皆さんよろしくお願いいたします。一緒に歩いていきます。感謝です。アーメン。

祭服のリメイク



典礼委員 山口理奈子

皆さんはごミサの時使われる朗読聖書に荘厳なカバーがついているをご存知でしょうか？

昨年、経年の劣化のため処分するようになった神父様の祭服を手芸クラブの方々が知恵をだしあつてリメイクされたものです。シミや汚れやほつれ等があつて、もうごミサでは使用できない神父様の祭服を、まずよく洗つて下さり、裏地をほどこいた状態にし、裏に補強布を張つてカバーとして使用できるような固さを持たせ、柄のデザイン性を考えながら裁断し、カバーに縫い上げて下さいました。



A年・B年・C年 ネーミング入り



A年B年C年と年度ごとにカバーを作つて下さつただけでなく、すぐ分かるようにと刺繍をして仕上げてくださいました。

製作中は祭服だった布を切れ端に至るまで慎重に扱って下さったそうです。

処分されることになつていた祭服に、愛と信仰を込めてリメイクして下さつた朗読聖書カバーは、私たちの典礼をより豊かにして下さいました。手芸クラブの皆さんに心から感謝致します。神様の祝福がありますように。

祝・司祭叙階金祝 11月23日

松山カトリック教会の信徒の皆さんよりお祝いを贈りました。



司祭叙階・金祝
ルイス・グティエレス師



司祭叙階・金祝
ハビエル・レチョン師

ルイス神父様からのメッセージです。

「毎日ミサをしています。松山教会の皆さんのために、祈っているよ」





オアシス便り

オアシスの灯り

栗田明美

マリア書院のあった場所に、オアシスが誕生して、足掛け三年余りになります。

コロナの大きな波にのまれ何度となく中断、翻弄されましたが又こうして再開出来ました。

締めきったオアシスの窓にやっと暖かい明かりが灯されました。



オアシスに灯り



道行く方も時には足を止めて明るいま窓に興味を持たれているようにも見えます。

灯りはどなたにとっても希望なのですね。

オアシスの小さな灯りが少しずつでも宣教に役立ってくれるよう願っています。

青春の頃、若さゆえの悩みや信仰の迷い等も抱えながら千舟町の交差点を渡り、三番町の教会が見えてくるといつもほっと明るくなりました。



火曜から金曜 10-16
日曜日のミサ後オープン

今もそれは変わらないと言いたいところですが、ついつい雑用にかまけて大好きだった教会から足が遠のいた事もありました。

ミサにあずかり、みことばをいただいてもその通りには生きていけない私ですが、せめてちよつとでも神様の近くにいたいと思う気持ちだけは今も一緒だと思えます。これから忙しい季節になりますが、

秋深い一日、オアシスにも足をお運びください。懐かしい方々とここで再会するかもしれません。

火曜日から金曜日まで朝10時から午後4時。

日曜日9時のミサ後、11時のミサ後、オアシスは開いています。

では、皆さん！オアシスでお会いしましょう。



クリスマスツリー・イルミネーション



クリスマスの馬小屋

松山教会のクリスマス馬小屋（プレゼーピオ）

待降節を迎え、クリスマスの準備を始める教会では、イエス様が生まれた馬小屋を飾ります。

私たちのために最も小さい者の姿で生まれてこられるイエス様を心から、待ち望みましょう。



この馬小屋は、イエス様が生まれた貧しく質素な当時の様子に思いを寄せ、暗がりで一層、輝く星を表しています。

